平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	簿記入門 (Introduction to Bookkeeping) 【坂元クラス】			授業コード	E032151
担当教員名	坂元　英毅			科目ナンバリングコード	E10101
配当学年	1	開講期	前期・後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	出席率が講義回数の2/3を下回れば不合格とします(期末テストの受験はできません)。 本講義では毎回スマホアプリを使用します。**バッテリー切れや通信制限に注意**して臨んでください。これらのトラブルによる不利益には一切配慮しません。				
受講心得	1. 毎回必ず出席してください(授業開始時の出欠確認と終了時のレポート提出が揃って初めて出席となります)。 2. 電卓を必ず持参してください。 3. 教科書を必ず購入してください。 4. 予習・復習を必ず毎回してください。 5. 授業で使用するスライドは、環境への配慮から個別配付はしません。各回終了後、データを提供しますので、各自でダウンロードもしくはプリントアウトしてください。				
教科書	渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記講義　3級商業簿記[平成30年度版]』中央経済社、2018年。　＊必ずこの版を購入してください。				
参考文献及び指定図書	渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記ワークブック　3級商業簿記[平成30年度版]』中央経済社、2018年。　＊必ずこの版を購入してください。				
関連科目	簿記原理、会社簿記、原価計算論A・B、管理会計論A・B、財務諸表論、監査論A・B、経営分析				

授業の目的	簿記入門は初学者を対象としていますので、簿記の意義や概念および一巡の流れを理解すること、基本的な技術を身につけることを目的とします。将来どのような職業に就いたとしても、組織を運営する上で経営感覚が必要です。簿記はこの経営感覚を養う上で大変役に立つので、全ての新入学生の必修科目となっている意味を良く理解して、簿記を身に付けてください。
授業の概要	簿記入門では、日商簿記検定3級の出題範囲の中から、簿記の基本的な概念や用語、仕訳から試算表の作成にいたる全体的な流れ、重要な個別論点について重点的に学習します。よって、簿記入門だけでは日商簿記検定3級の出題範囲を網羅していません。これは簿記原理と合わせて完成するものです。また簿記という学問は演習が非常に重要ですので、授業の中でも演習に重点を置いて組み立てていきます。 また、一定範囲の学習ごとに習熟度の確認テストを実施します。結果については、その場かあるいは次の授業でコメントします。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： 簿記の意義としくみ 簿記の意義や基本的な考え方を理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復、自身にとって簿記の学習が何の役に立つのかをまとめる(1h・1h)
第 2 週 ： 簿記の意義としくみ 簿記と貸借対照表、損益計算書の関係について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復(1h・1h)
第 3 週 ： 仕訳と転記 勘定の意味や取引の意義と種類について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復(1h・1h)
第 4 週 ： 仕訳と転記 取引の8要素や仕訳と転記について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復(1h・1h)
第 5 週 ： 仕訳帳と元帳	

帳簿の種類、仕訳帳への記入、仕訳帳から総勘定元帳への転記の一連の流れを理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第 6 週 ： 仕訳帳と元帳 帳簿の種類、仕訳帳への記入、仕訳帳から総勘定元帳への転記の一連の流れを理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第 7 週 ： 決算 決算手続きの流れ、試算表の作成について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第 8 週 ： 決算 帳簿の締め切りと財務諸表の作成、精算表について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第 9 週 ： 現金と預金 現金の意義と現金勘定、現金過不足の処理について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第10週 ： 現金と預金 当座預金と当座借越、小口現金の処理について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第11週 ： 繰越商品・仕入・売上 商品売買の処理、特に3分法について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第12週 ： 繰越商品・仕入・売上 仕入帳、売上帳、商品有高帳について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第13週 ： 売掛金と買掛金 売掛金と買掛金の意義、それぞれの元帳について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第14週 ： 売掛金と買掛金 売掛金および買掛金の明細票、前払金・前受金の処理について理解します。	テキストの記述部分の読み込みと練習問題の反復（1h・1h）
第15週 ： 総括 講義全体の総括と演習を行います。	練習問題の反復（2h・2h）
第16週 ： 期末試験 15回までの講義内容を試験範囲とします。筆記用具、電卓以外は持ち込み不可です。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	簿記・会計の意義を理解し、演習に対して積極的に取り組んでいること。
【知識・理解】	簿記・会計の意義を理解していること。 簿記の基本的なルール・仕組みを理解していること。

【技能・表現・コミュニケーション】	簿記の基本的な仕訳や転記、試算表等の処理ができること。
【思考・判断・創造】	経済事象を会計的思考により捉えられること。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	25点	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	35点		10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	事後課題について積極的に取り組んでいるか、知識を身に着けているかを評価します。
発表・その他（無形成果）	授業中に実施する演習に対して積極的に取り組んでいるか、技術を身に付けているかどうかを総合的に評価します。